



出張報告書

令和 5年 1月 23日

尼崎市議会議長 様

会 派 名 蒼 風 会  
 代表者氏名 林 久博  
 出張者氏名 鷺田 真緒

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

- 1 出張期間 令和 4年11月21日から令和 4年11月22日まで
- 2 結果の概要

用務先 大津市	報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 令和4年度市町村議会研修 [2日間コース] 参加 1 第2回「防災と議員の役割」	
添付書類 <input checked="" type="checkbox"/> 研修参加報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事前課題 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	備 考	

- 3 届出事項の変更等  なし  あり (内容は裏面に記載)

旅 費 の 精 算

<input checked="" type="checkbox"/> 精算額は、令和 4年10月21日届け出た額 (5,990円) と同一額である。  <input type="checkbox"/> 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 研修報告書

受講者 鷺田 真緒

日時：令和4年11月21日（月）～22日（火）

場所：滋賀県 JIAM

講師：各コマごとに記載

研修題：「防災と議員の役割」

11月21日（月）

講義：地域の防災力を高める

講師：神戸大学 名誉教授 室崎 益輝 氏

概略：減災社会について、また地、域の自主防災の重要性について

講義：平時の防災と議員の役割

講師：跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一 氏

概略：災害の実録を振り返り、具体例とともにどんな災害対策が有効か災害の種類にあわせての研修。また、コロナ禍を通じてポストコロナにおける避難所運営について

演習：平時の防災と議員の役割

講師：防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏

概略：大きく2グループに分かれてワークショップ。グループの中でも4、5人のチームに分かれる。題は「災害時に行政が効果的な対応をするために平時にすること」。各自治体での取り組み事例を挙げ、足りていない部分の書き出し、取り組むべき課題の可視化。東日本大震災の際の岩手県大槌町の災害対応例を軸に、災害発災時の課題、今後の解決策の導き。

11月22日（火）

講義：災害時における八代市議会の対応と取組

講師：熊本県八代市議会議員 上村 哲三 氏

概略：熊本地震、令和2年7月豪雨の際の市議会の取組事例、また現在の復興に向けての継続的な取組について。併せて市議会のデジタル化について

講義・演習：災害時、復旧・復興期の議員の役割

講師：跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一 氏

防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏

概略：平時の防災の取組、特に建物の耐震化での被害の軽減に関して数値的根拠を軸に研修。また、避難所運営に関して福祉避難所の課題について。福祉避難所と地域のつながり、役割について

演習ではグループで、東日本大震災での宮城県東松島市議会議員の行動の実録を軸にワークショップ。議会・議員・職員の活動のみの要約を使用し、災害発災時の取組み、その際の課題点などを話し合う。

#### 概要等

本研修を通して、平時の議会における防災対策を具体的な実例を交えてどんな条例を定めるか・何を規定に明記するかかの理解が深まった。災害発災時の対応に関して、復興の途中には責任の追及をしないことや、情報共有・情報発信の効率化、尼崎市の現行の災害対策マニュアルや避難所運営マニュアルの課題点の理解、そして議長を含めた災害発災時の議員の権限と役割に対しての理解が深まった。また、他自治体の取組事例を知ることで尼崎市の取組みがどれほど先進的なものかを知る機会にもなった。

令和4年度 市町村議会議員研修[2日間コース]  
「第2回防災と議員の役割」 事前課題

提出期限 11月2日(水) 17時必着

○提出先 : JIAM教務部 [REDACTED] あて (メールアドレス: [REDACTED])  
※提出の際は「★」を半角の「@」に変換してください。

※エクセルの色付きセル部分に入力し、メールでご提出ください。  
※各セルの幅や高さの変更及び挿入などはしないでください。

○メールの件名 : 「事前課題 (団体名) ●●議会 (氏名) □□□□」

○添付ファイル名 : 「事前課題 (団体名) ●●議会 (氏名) □□□□」

【様式データ】

JIAMホームページ(<https://www.jiam.jp/>)の「受講者の皆様」からダウンロードしてください。

都道府県名  兵庫県	団体名・議会名  尼崎市議会
議員在職年数  1 年 4 か月	氏名  鷺田 真緒

研修受講にあたり、ご自身のお考えや所属議会の活動状況等について整理していただくため、下記の質問への回答をお願いします。ご記入いただいた内容については、参考資料として、講師及び受講者に配付させていただきます。

1 あなたの地域で最も気になる災害、懸念している災害は何ですか。 1つだけお選びください。

- 1 地震・津波                      3 土砂災害  
2 水害・高潮災害                4 その他

回答欄

4 その他の場合→

2 あなたの自治体の防災推進に関わる政策・事業は充実していると思いますか。

1つだけお選びください。

- 1 非常に充実している            3 ほとんど充実していない  
2 やや充実している              4 全く充実していない

回答欄

3 2で、なぜその回答になったのか、その理由をお書きください。

理由

尼崎市には海拔0メートル地帯があり北へ避難する水平避難を推進しているが市民の中には垂直避難を避難経路にあげる方もいるため、周知徹底が行われていない。また避難所にはペットボトルの水の備蓄はなく、地域の地区防災がどの程度活動できるかも個々には把握できていないため。

4 地域防災を推進し、充実するために最も必要なものは、何だと思いませんか。

1つだけお選びください。

- 1 人材                                      4 条例や制度等のしくみ  
2 お金                                      5 その他  
3 防災設備等のもの

回答欄

5 その他の場合→

5 あなたは、議員個人として、災害時に地域でどのような活動を行いましたか。あるいは行う予定ですか。(議会での質問や、他の地域への視察は除く)

- 1 活動する                              2 活動しない                              回答欄

活動内容

避難経路への誘導や高齢者や障がい者、乳幼児を抱えた世帯が避難できたかの確認など。

6 あなたの所属議会において、「議会」として災害時の活動ルールを決めていますか。

1 決めている      2 決めていない      回答欄

活動内容

- ・BCP
- ・尼崎市議会災害時連絡本部の設置

7 災害発生後の応急対応時に「議会」はどのような活動をすべきと考えますか。  
また、その理由は何ですか。

活動内容

尼崎市議会災害時連絡会議を開会し、市災害対策本部との連携を図り市民のいのちの安全を最優先に図る。

理由

災害の規模、種類、事態の推移等に応じ、迅速かつ的確に行動することが求められるから。

8 災害発生後の復旧復興時に「議会」はどのような活動をすべきと考えますか。  
また、その理由は何ですか。

活動内容

会派及び議員から提出された情報・要望を一元化し、市災害対策本部または市災害警戒本部に提供する。

理由

市内全域の情報を伝えるために個々に集めたものを一元化することによって優先順位がわかる。

9 災害発生後の応急対応時に「議員」はどのような活動をすべきと考えますか。  
また、その理由は何ですか。

活動内容

災害の状況に応じ、当局が災害対応に全力で専念し、応急活動が円滑、迅速に実施できるよう必要な支援・協力をを行う。また、ライフラインの確保のためにも市内全域の情報を細かくつかみ当局に伝える。当局からの情報を市民に広報する。

理由

自助・共助・公助が整い災害時に迅速に市民のいのちを守るため

10 災害発生後の復旧復興時に「議員」はどのような活動をすべきと考えますか。  
また、その理由は何ですか。

活動内容

それぞれの居住地域等において活動することとし、被災者に対する相談及び助言等を行う。収集した情報を当局に伝える。

理由

市民の声を届ける立場にいるため。細かい情報が把握できるのは身近な居住地域等の活動が当てはまると考えるため。

11 講師に質問したいことがあれば、ご記入ください。  
ただし、全ての質問にお答えできるとは限りませんので、予めご了承ください。

質問したい  
講師名↓

湯井氏

緊急時にペットボトルの水を備蓄していないことについてどのように感じられますか。市の見解としては応急給水栓の設置、基幹水道管の耐震化を国が定める数値をクリアしており、避難場所にペットボトルの水を備蓄しておりません。